


たんぽぽ



NO. 28  
HI. 9.30  
—発行—  
〒869-12  
熊本県菊池郡  
大津町森54-2  
社会福祉法人  
三気の会  
三気の聖  
TEL096  
293-8100

## 夏休み

理事長 田中 稔

今年も2週間の夏休みで子供が帰宅して来ました。通常の土曜日から日曜日への帰宅とは異なり、夏休みで長く帰れるという事が何と無く分かる様で帰りの車中では身の置き所が無い様なしやぎ振ります。自宅でも(明日から園に行かなくて良いのか)と何度も身振りで(言葉が無いので)確認に來ます。「休みだよ」と言っているとホッとする様です。久し振りの我が家での生活に慣れるのに何日かかかります。一日の生活のリズムを本人が出来る事を中心に皆で協力して作る様にしています。手順ややる事が変わるのを嫌いますので、良い生活習慣、リズムを作るのに工夫が要ります。それで

も、やれる事は限られているし、

一つの事が出来るとそれにこだわって發展的に次の出来る事へと結びついていきにくいのでリズムがワンパターン化する傾向があります。反面、リズムや手順を単純にパターン化する事によって安定する様にも見えます。

施設等で出来る様になった、成長した、変わったという話もありますが、これは施設という場で、集団の力で、又必要最小限な投棄等の処置を上手に併用する事等によってそう見えます。生活のパターン化という事では基本的には変わっていないと思います。集団生活のパターン化の内容を工夫し、人間生活らしくするという事が課題です。

一人になって家庭という場に帰っ

てみると以前と少しも変わっていないというのが親達の実感でしょう。家庭や社会の中でこの子達が生活していくのはやはり大変だなあと実感させられる頃、夏休みが終わります。我が子に帰園の2、3日前から「もう休みはおしまいだよ」と告げるとイヤだな、行きたくないなどという顔をします。帰園当日の朝は、元氣よく行ってくる事を願いつつ、「又、顔を見に行くからね」と言葉をかけ出勤します。その日の夕食は「いると大変だけれどいなくなると寂しい」心境で黙りこくった涙のにじむ食事になります。この「想い」が施設を作った私の原点ですから忘れない様にします。

施設の中には、保護者からの要望で休みを短くしている所もあります。親にとって我が子を実感として確認出来る期間でもあり、職員にとっては積極的な研修等による充電期間である大切な休みだと私は位置づけています。

## 療育シリーズ

## 脳波検査

園長 土井尚典

国立菊池病院に通院して抗てんかん剤を服用している園生8名を4日間に分けて脳波検査する事になった。その内自閉症者が7名いた。頭や手に色々な物をつけられて、じっとしている事が出来るかな、知らない場所で眠る事が出来るかなという心配があった。病院の配慮で昼食後の眠り易い時間にして頂いた。

検査の合間に検査技師の方とどうしたらうまく検査に入れるか、どうしたら落ち着いて検査を受けさせられるかという話に花が咲いた。脳波検査の前日は睡眠時間を減らしていると伝えると技師は「5時間以内の睡眠が良いと言う人も居るけど知らない環境で昼間眠るのは本来無理なんですよ」とおっしゃられ、うんうんとうなづいた。しかし、連れて行く側の私達は少

しても検査がうまくいく様に睡眠時間は減らしておきたいのが心境であった。次に検査室への入れ方の話が出た。検査ベッドに連れて行く前に検査技師と仲良くなる時間をつくるか、直接部屋に入れた方が良いかという内容だった。技師の方は「時間の余裕があればやっているけどベッドに連れて行ってそこで仲良くなった方が良いでしょう。検査場面と仲良くなる場面が違うのは、仲良くなるのを検査場面でやり直すようと同じになってしまうようだ」と感想を述べられた。

次にベッドの上で落ち着いて横になって話集中した。顔や頭を頻繁に動かす子、手足を動かす子、横になる事を拒否する子の対応については、こういう事をした、ああいう事をしたと経験が次々と出て来た。ベッドに横になるけど落ち着けない子には、腰や膝近くを軽く叩き、心臓の鼓動の早さから呼

吸の早さにおとしていく方が効果的だったと話すと、叩くのは脳波測定に影響が出るのでさすってやる方が良い、更に部位は本人が普段、人から余りさわられない場所が良い、顔とかお腹とか大腿部等。そういった場所は抵抗を見せるが、いったん許すと落ち着きが早い、それに早く寝かせ様とあせらない事だと教えて下さった。顔を動かす場合は、単に顔を押しえると不快感が生じるので押えながらホホをなでてやる方が良いと実演入りで示して下さいました。横になる事さえ拒否する子は我々が行う「ねかせ」の方法に似ていた。

検査を受けさせる基本は本人が安心して受けれる事にあるので、その為の工夫はつきないなあと感じ謝で一杯であった。

園生8名は夢のような話だが、脳波は無事とれました。嬉しさを飛び交わす様子が戻りました。



夏だんより。

高野サチ子

子供達にとっては待ちに待った楽しい夏休み、でも私達親にとっては大変。毎日家の中がざわめいて部屋中散らかしっぱなし。あそこへ行こうよ、ここへ連れてってとうるさい、うるさい。仕事をしていると親も子供も思うようにならずです。日ごろ家の事をまかせきりのお姉ちゃんは夏休みしか会えない友達とお出掛け。私達は江湖祭りへ久し振りの夜の外出。弟の手をつないで啓三スキップでご機嫌。水の上のレーザー光線にはびっくりした様に見とれている啓三、夜店ではアイスにポテトとパクつきながらニコニコです。雪の広場では弟に雪の固まりを握らせられて驚いた様です。夜の動物園もすごい人でした。

私の休みの日、近所の子供達と城内プールへ、私一人じゃ大変だろうと夏休みで帰宅の大学生のお兄さんを近所のお母さんが応援に

よこしてくれた。三人の子供達、啓三と一緒に泳いでいた学生さん、私に気を使われたのか三人の子供達と外のプールへ。お陰で私は啓三だけを見る事が出来ました。啓三も私の方を見ては思いきり飛んだり、潜ったり。手をたいてやると得意気に又同じことを繰り返します。そばにいる人達も初めは驚いた様でした。でも啓三お構いなしにご機嫌でした。

大学生のお兄さんは、バイクで来ているという事で城内プールの前でサヨナラです。どうもお世話になりました。他の子供達もすごく楽しかったそうです。

13日の花火大会。ドーンとすごい音で打ち上がる花火にびっくりしている啓三、夜空にバツと散る度にオーと言う周りの声。両手を思いきり振っている啓三、凄いな、綺麗ね。こんなに近くで見ただのは初めてで、家に帰ったらあちこちススだらけ。でも花火本当に綺麗だったね。

夏のプールについて



夏休みに入った8月8日から4日間、西合志にあるNTTプールで希望者のみのプール指導を行いました。プールは閑静な所にあり、水は熊本一きれいだと管理人さんが自慢しておられた通り、澄み切っていました。平均8名の参加者がありました。皆出掛ける前に水着を着込んで行ったので、プールに着いたらさっと服を脱いで次々とプールの中へドボン！職員もボランティアさんも園生と一緒に楽しんでみました。希望者だけとあって皆水が大好き。プカプカと浮いている子もいれば、水をばしゃばしゃとばしたり、コースを泳いだりと様々でした。職員同士では、悲惨にも沈めあいが始まりたらふく水を飲んだ人もいた様でした。短い4日間だったけどまた一層日に焼けて皆黒くなりました。

PS ボランティアに来て下さった方ありがとうございました。

武藤

### 3 班 久木野の大地<瓢箪編>

「おーい、瓢箪が出来たよ。」と、職員の光永さんが、見事にくびれのついたまだ青い瓢箪を山程がかえ、嬉しさに顔をほころばせながらやって来た。

凄いやら、びっくりするやらで、慌てて畑にいてみると、あります、あります。藁の上、草藪の中、大きな顔をした瓢箪がどでんと横わたっている。早速けい君は丁寧につるの根元を握り、スバッとナタで切り下ろす。うまいものである。てっちゃんとはといえば、こちらは器用なことに蔓など持たず、ナタを上段に構え、勢いをつけ振り降ろす。長剣で敵を斃すかの如くであるが、蔓のみを切らず、瓢箪までズブリと切り裂いてしまうのだからたいしたものだ。お次はマー君である。マー君は藁の上に座り込んで瓢箪に向かっている。「何してんの？」と聞くと、驚いたようにして顔を上げ、「瓢箪食べられん。」と、2度言った。見ると、瓢箪が1つ、半分に割られ、中が少し削られていた。「うーいうん、食べられんね。」私は只、頷くばかりであった。

足元には大地、見上げれば空、目の前には雄大なその五岳がひろがっている。人々は草取りの手を休め、山を見上げ、空を見上げ、風の匂いをかぐだろうな。

(坂本信)



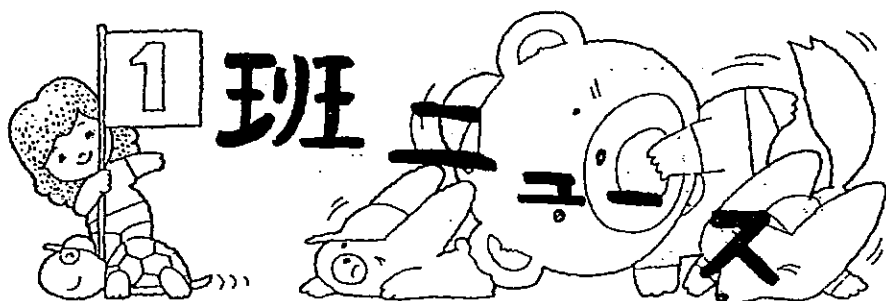
### 4 班 キャンプだほい！

今回、4班初のキャンプを清風荘で行いました。夕方、キャンプファイヤー場ではバーベキュー大会・カラオケ大会に花が咲きました。中でも事務長の丹精込めて作った鶏肉入りそうめん(園の鶏が2羽程蒸発したという話も…)それはさておいて、おいしかったです！メインのカラオケ大会では、陽ちゃんの『もしもピアノが弾けたなら♪~』の曲に始まり、皆我も我もとマイクを握り自慢ののどを披露しました。中でもすてきだったのが、まーちゃんとお母さんのデュエット。思わずうっとりしてしまいました。夜は温泉にゆったり(?)つかり休みました。1週間前のプレキャンプのお陰か、部屋内を跳び回る子もなく、意外と(?)静かな夜を過ごしました。朝は、眠い目をこすりながらも(特に職員とは言いませんが)元気に跳び起き、ラジオ体操後近くの山道を散歩しました。何とすがすがしかった事か…最高でした。日ごろの行いが良いせいか、お天気も良く本当に楽しいキャンプでした。

p s お父さん、お母さん方ご苦勞様でした。又、是非やりましょう！！

今度は1泊と言わず2泊、3泊でも……?!

(山中)



## 1班 THE NEW WORK

9月から1班では、新しい作業に取り組んでいます。プリンやヨーグルトについてくるプラスチックのスプーンをビニールの袋に入れる作業です。

まず、かっちゃん、たけちゃん、きよしくん、はじめちゃん、りえちゃん、ただちゃんの6人が、10個つながったビニール袋に1つ1つスプーンをいれ、みっちゃんはその袋のくちをバックすると、まことくんとのりちゃんが1つ1つに切り離し、最後にたいせいくんが良品・不良品のチェックをする、というようにベルトコンベヤーこそありませんが、流れ作業で次から次へとビニールに入ったスプーンが出来上がっていきます。清潔がモットーの1班に本当にびつたりこの作業、りえちゃんは「おかしかねー」を連発、はじめちゃんは「これならまかせて」という表情で、ちょっぴり肩がこるけど、みんな楽しんでやっています。

この作業をわけて下さったコスモス作業所の皆さん、先生方ありがとうございます。  
(平川)

## 2班 ふん - フン - 糞

2班のみんなは毎日毎日、畑仕事に精を出しています。先日も、これからやって来る冬のために野菜を植えようと畑作り（堆肥まき）をしました。

今回は鶏糞をまくことになりましたが日のガンガン照る中の鶏糞まきは、想像以上につらいもので、職員の方がクラクラッとしてしまいました。意外や意外、園生はあの臭さにビクともせず平気な顔をして一輪車で運んでいました。アイディアルームで一班がお菓子作りをしていましたが、入り口前に鶏糞のプレゼントを残した英君、変わった臭いがするナァと匂って見たのは良かったけれど余りの臭さに驚いた武彦君、あっこちゃん。こんな匂いがついたら女の子にもてないと嫌がった文ちゃん、俊ちゃん、せっかくの良い女が台なしと言ってた久美ちゃん、目に染みるような臭いで涙を流しながらも頑張った浩ちゃん。息も出来ないでいる職員の代わりに、他のみんなに声かけしてくれた民ちゃん。

みんなの働きぶりには頭が上がりません。あっぱれ、あっぱれ！  
(清田)

## 実大習目を終へて

相沢るみ子

八月二十八日から九月七日まで三気の里で実習を行い、自分が少し変わった気がしています。

彼らと仲良くなる為には、積極的に自分から話しかけなければいけないと思ひ恐怖感を持ったまま接してみた。すると、彼らは思っているより素直に私に反応してくれた。

私は、彼らの事を頭の中で触るとすぐ壊れてしまう物の様に思っていたかもしれない。しかし彼らは自分で毎日を頑張りながら生きる人々でした。

確かに声をかけなければ行動出来ない人や、目を離せない人もいますが皆が伸び伸びと色々な事をやっている気がしました。

施設という考えが私の頭にあった為十日間やれるだろうかという不安が一杯でした。実習に入ると楽しい事がたくさんありました。それらの一つ一つはすべて彼らの

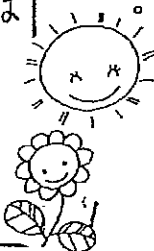
行動を見て私を感じた事でした。

私の言った事に反応してくれただけで嬉しがっていました。また、彼らの事が分からずに悩んだ事もありました。これらの出来事は実習のいい思い出と思っています。

彼らと接する事により一人一人の性格がありその性格にあった接し方をしなければいけないという事で難しい面がありました。もつと皆と接して仲良くなりました。というのが今の所の感想です。十日間で学ぶ事は多すぎて私には、まだやってみる事がたくさんある様です。これから施設に行く機会があればやれなかった事をためししてみたいと思います。とても楽しい実習をさせて頂き本当にありがとうございました。

ただいま

食大生実習中



「はんぺんについた歯型」

三気の里の食事は、セルフサー

ビスです。嫌いなものは無理に食べなくても良いという事で、おかず次第では、4〜5皿残る事もありません。少なくとも1〜2皿は必ず残っていました。ところが最近パーフェクトです。なかなか園の食事を食べてくれなかったのりちゃん、全部持つて行ってくれる様になったからです。それを全部食べてくれる様になるまでは時間がかかりそうですが、がんばろうね、のりちゃん。

日曜日の夕食に、はんぺんのおすまじがありました。のりちゃんは豆腐は大好きなので、サイコロの形に切って5〜6個浮かんでいるはんぺんを豆腐と思ったのか？口にしてすぐ顔が変わり、「あれ何だこれー。」とでも言いたそうな顔をしてました。口には入れたのですが、指導員のガンバレコールも通用せず、はんぺんにたくさん歯型をつけるに終わりました。今度は食べてみようか。のりちゃん！

(牛嶋)

# 施設見学

ゆきぞの学園

今回、三気の里で行われている施設見学研修で私はゆきぞの学園を訪れました。四方を山で囲まれた大自然の中に施設が建てられています。真っ先に目についたのがしいたけの原木でした。木々の陰にしっかりと組まれた原木は話によると1万5千本という莫大な数でした。施設見学というと、ついつい自分の学園と比べがちになりますが、我が園の百本の原木とは比べものにもなりません。比べて感心する事が目的ではないので止める事にしますが、さすがに感心する事が多かったです。

作業ひとつとっても、プロに負けないくらい技術を持っていて、自信に満ちあふれている彼らの顔を見て圧倒されました。人が生きていく為には、自信というものが重要だと思います。ゆきぞの学園の皆さんが生き生きしているのはその為だと感じました。

見学させて頂きありがとうございます。ありがとうございました。

坂本由



## 気になる

### 栄養の話

「ゼラチンと寒天の違いを知っていますか？」

暑い暑い夏が、やっと終わりを告げようとしています。皆さんはどの様に乗り切られたでしょうか。浴びる程にジュースを飲んだ子、毎日アイスクリームを食べた子など様々だと思いますが、冷たいものが欲しくなるのは皆一緒ですね。しかし、市販のこれらのものを摂り過ぎると「肥満のもと」です。ので注意しましょう。それよりもやっぱり手作りは最高です。ゼラチンや寒天を使っていろんなデザートに挑戦して下さい。

ゼラチンとは、動物の結合組織に含まれるコラーゲンが原料で、水に浸してふやかしてから、10

倍量の水を加えて火にかけて溶かします。

寒天は、紅藻類のてんぐさやおごりが原料で、水に浸しておいて火にかけて溶かします。寒天は室温でも固まりますが、ゼラチンは溶けてしまう所が大きな違いです。

牛嶋(旧 興呂木)



## 後援援会云々だより

平成元年度後援会会員紹介

東 信幸 東嶋敏子

9月28日付け

※敬称略



「毎月たんぼぼを楽しんで読んでいます。」という話しをよく聞きます。後援会の皆さまに、直接御意見や御感想を聞く機会はありませんが、時々お電話や振り込みの通信等で励ましの言葉などをおい

### 10月の行事予定

1(日)	11(水)	21(土) シーツ交換
2(月)	12(木) I・3班レク 動作法	22(日)
3(火)	13(金)	23(月)
4(水) 体重測定	14(土)	24(火)
5(木) 4班レク 誕生会 動作法	15(日)	25(水)
6(金)	16(月) 防災訓練	26(木) 2班レク 動作法
7(土) 掃宅日 父兄会	17(火)	27(金) 大掃除
シーツ交換 鶏小屋作り 草取り	18(水)	28(土)
8(日)	19(木) バスハイク 動作法	29(日)
9(月)	20(金) 作品展示即売会	30(月)
10(火)	(二の丸公園にて ~22日迄) 31(火)	

ただいでうれしく思っております。  
 平成元年度も半年たちました。  
 毎年継続して会員になって御支援  
 下さる方、また新しく会員になっ  
 て下さった方、本当にありがとうございます。

ぼらんていあ  
 通信

楽しかった夏休みも終わり、秋らしい風が吹き始めました。この夏、夏祭り・プールといった行事も、ボランティアの皆さんの協力で「とびつきり楽しい」思い出になりました。ありがとうございます！  
 実りの秋：焼き芋の匂いがしたら、遊びに来て下さいね。(平川)

ぼらんていあありがとうございます  
 7/20 (2班レク) 山室明美  
 8/4 (夏祭り) 山本姿子 村上清  
 坂本直子 坂本孝子 相沢るみ子  
 坂口耕一 小崎千和 大村亜佐子  
 金丸あや子 田中ふじ美  
 松永ルミ子 田之上あかね

8/8~11 (プール) 小野リカ  
 山室明美 今村由紀 富岡桂子  
 坂口耕一  
 9/3 (フットベースボール大会)  
 宮崎直子 永井ひろみ  
 谷田川かおり (敬称略)

やろろう△△

十月日日程

5日(木) 井手上・国本・上野・田中  
 12日(木) 佐々木・荒牧・神沢・那須・田中  
 19日(木) 島津・富田・中村き・田中  
 26日(木) 中嶋・森川・松村・田中  
 いつもお手伝い  
 ごくろうさまです!

編集後記

朝晩は風が少し肌寒く感じられる今日このごろ、熊本県バイコロジリをすすめる会(ライオンズクラブ)からのご好意で10台の自転車がお目見えしました。秋晴れの空の下、作業の疲れも忘れて、この自転車に乗って遊んでいます。ありがとうございます。